

## 認知症の理解Ⅱ

担当教員 吉岡 久美

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

認知症の知識をもとに、認知症のある方を生活者としてとらえ、社会的課題を検討して対応するための力を修得することを目的とする。

1. 認知症高齢者の症状や生活に伴う困難を理解する。
2. 認知症ケアの基本的考え方やケアの実際を理解する。

## 【授業の展開計画】

【科目担当者：吉岡 実務経験】

大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員（高齢者科目担当）他

週	授 業 の 内 容
1	認知症の原因疾患と症状を再確認し、その知識を支援に活用することができる
2	認知症の人を生活者の視点から捉え、生活支援の在り方を理解する
3	ワイズマンの3つの環境構成要素を踏まえ、環境による働きかけを工夫することができる
4	生活の独自性・全体性・地域制・継続性を考慮した支援を理解する
5	認知症の人へのかかわり方の基本を理解する
6	認知症の進行に応じた支援を理解する（初期・中期）
7	認知症の進行に応じた支援を理解する（後期・ターミナル期）
8	認知症の人に対する地域資源や、行政のサポート体制を知り、検討する
9	チームアプローチの事例を通して、認知症の支援に関わる者の役割を理解する
10	介護家族の4つの苦しみを理解し、家族支援に活かすことができる
11	家族へのレスパイトケアの方法を理解し、事例に応じて組み立てることができる
12	エンパワーメントを踏まえた家族支援ができる
13	介護保険制度における認知症対策を理解する
14	グループホームと小規模多機能事業所の役割を理解する
15	認知症の人の望ましい生活を考えることができる

## 【履修上の注意事項】

事前にテキストを読んで予習する。  
講義終了後は、授業内容をノートにまとめ、課題に取り組む。  
事前・事後学習に要する時間 計90分程度

## 【評価方法】

定期試験70%、演習課題30%  
演習課題については、コメントを入れて返却する。

## 【テキスト】

『認知症の理解』中央法規

## 【参考文献】

進行の中で紹介、資料配布を予定している。